

花まるだよ!

2026
103

Hanamaru
Monthly
Newsletter





2026年3月

目指す大人へ卒業するキミへ

先日、花まる作文コンテストの優秀作品を選んでいたら、六年生の作品のなかに小学校生活を振り返るものがありました。入学の春がコロナ禍のスタート。今年卒業するあなたは、ピカピカの一年生なのに学校へ行けないところからの始まりだったんだね。マスクははずせないし、三密回避・黙食・消毒みたいな時期があったよね。その作文には、運動会や音楽会が事前に収録した発表を後日録画で観る形式だったけれど、「そういうものなんだな」としか思わなかったことや、二年生で学級閉鎖になったときはただ家で自習だったので友達に会いたかったこと、四年生で初めて全体で運動会や音楽会が開催されたとき、素敵だな楽しいなと感じたことなどが書かれていました。一番友達とワーワー騒いだりくっついていたりしていた小学校低学年時代にバンデミック。辛かったよね。しかし過ぎ去れば歴史。最も厳しい制約のなかで過ごしたことは、50年経っても語れる貴重な経験になったのではないかな。それに、いまマスクなしでも過ごせる「当たり前の日々」を、ありがたく感じられるよね。試練はあなたに力をつけていると思います。

さて、将来あなたが大人になって働きはじめる頃を想像してみよう。見識のある方々が言っているのは、「AIや量子コンピュータやロボットなどの技術が進歩することによって、未来がいよいよ不確定で読めなくなるし、多くの仕事がなくなくなる」ということです。みんなが社会人になる十数年先どころか、数年先さえわからない。ますますで、少し前まで「この職業に就くと高収入・安定」と言われていた職業が、AIの進化によってなくなったり劇的に変わったりするということが実際に起こっている。それこそ私が育った子ども時代は、「有名大学に行つて大企業に就職すれば安泰」と言われていたから、単純に進学校に進むことを目標にすれば良かったのだけれど、もう世界は変わったし、これからもっと変化していきます。どういう業種を目標に生きていけばよいか、どんな勉強や訓練をすればよいかかわりにくい。そんななか、ちゃんと目を凝らして大人たちを見つめ、目指せる大人像をしっかり定める中高時代を過ごしてほしいです。

一人のモデルを紹介します。鈴木俊貴東京大学准教授。鳥には自分たちだけの独自の言葉があることを解き明かし、つまりは人間以外の動物が言葉を持っていることを人類史上初めて証明した研究者です。彼の生き方はとてもおもしろいよ。乳幼児期から虫や生き物が好きで、2歳の頃はアリの夢中だった。あまりの生き物好きに、ご両親は決断して彼が3歳のときに東京都内から自然豊かな茨城県へ引っ越した。お父さまは丸の内までの通勤が往復5時間になるにもかかわらず！茨城での初期経験は実に豊かで、良いエピソードが溢れている。5歳のときのことを一つ紹介すると、「カブトムシは昆虫の王者なので、蜘蛛の巣にかかると食べられることはない」と図鑑に書いてある。ところが現実には蜘蛛の巣にひっかかって食べられていたカブトムシを発見。「図鑑と違うよ」と報告したとき、お母さまはひとこと、「あなたが図鑑を書き換えればいいのよ」と言ったそうです。それからひたすら外遊びや野外体験に無我夢中の日々だったのだが、都内に引っ越した小六の秋に友人から「桐朋中学校というところには、ものすごい森があるらしい」と聞

新刊情報

『おともだちほん』

はじめての「よのなカルールブック」



高濱 正伸 監修
林 ユミ 絵
(日本図書センター)

50万部突破のベストセラーシリーズに【おともだち編】が登場！
「はじめての友達つきあい」がうまくいく！
4歳からおぼえておきたい友達関係のキホンを紹介。

「人とのかわりを学びはじめたわが子にどんなことを、伝えたい？」……そんなお父さん・お母さんを応援する1冊です。

『教師の習慣化』



二川佳祐 著
(東洋館出版社)

小・中学校の不登校児童・生徒数が、少子化なのに過去最大となった。学校制度の抜本的改革が必要なのは間違いないが、「変わらない岩盤」と化している。現在教師として教室を預かっている方のなかから改革のオピニオンリーダーが出てくるべきだと考えていたところ、本書が登場した。先生として成長し充実した日々を過ごすためには「習慣化」が大事だと、若き仲間たちに説いている。「ミニマムにする」「いまある習慣にかけ合わせる」「人との約束にする」など、シンプルだが納得できるツボが示される。飾らないが旺盛な行動力と深い内省の積み上げによって紡がれた言葉には力があり、一般の社会人にも中高生・受験生にも役に立つ一冊。

高濱の本棚

いて行ってみたら感動。急遽、中学受験をする。算数がもとと大得意だったこともあり合格。中高の6年間は生物部にどっぷり。平日はもちろん、土日もどこの野山に出かけて観察する徹底ぶり。おかげで同級生10人のうち4人がのちに生物の研究者になったという結果もすごいよね。生物研究で有名な東邦大学に進んで、大学三年時には卒業論文のテーマ探して軽井沢に出かけてシジュウカラの「言葉」に関心を持つ。大学院に進んで、シジュウカラには200以上の鳴き声があり、単語を使って話していることを突き止め、科学誌に投稿。世界中から注目されるようになり、次々と素晴らしい論文を発表することになったんだ。『利己的な遺伝子』（紀伊國屋書店）で有名なりチャード・ドーキンス博士が6代でもらった権威ある賞を40歳で受賞したように、地球レベルで注目される研究者になった。詳細は『僕には鳥の言葉がわかる』（小学館）という本に「中学生でもわかるように（本人談）」書いたそう、語りかけるようなとてもユーモアに満ちた表現で記されているから、ぜひ読んでみてほしい。森での一つひとつの試行錯誤なんて、小・中学生の自由研究とまったく同じ視点でおこなわれていることもなんだか嬉しくなる。

1月2日『AERA with Kids』（朝日新聞出版）

で対談することができたのだけれど、まあ一つひとつの話がすごいおもしろいし「いやー、これは子どもたちの理想にすぎない人物と出会えたぞー」という感動で、心がいっぱいになりました。「口から出る言葉がすべて宝石」と言える彼の話のなかで一番衝撃を受けたのは、A1時代の生き方です。「何でもチャッピーに聞けばいい」と言われるように、生成AIは万能のように思われているけれど、A1から出てくる情報は過去の論文や辞書に記載された「真実」と信じられていること」の集積にすぎない。世界には「まだまだ発見されていない真実」が無限に広がっている。そこに問いを立てて地道に実験したり観察したりして、「まったく新しい真実」を発見することは人間にしかできない。それはものすごくワクワクして幸せになれる生き方なのだ、と。どう？ 尊敬できるおもしろい先輩でしょうか？

さあ、卒業。花まるグループに在籍してくれたキミたちは、サマースクールや雪国スクールをはじめとする野外体験で多く積み重ねてきた大自然のなかでの実体験や、新しい友達をつくるという人間関係の構築経験が、これからどんな役立っていきます。なぜボーやキューブキューブ、レインボータイムで培った思考力もいろいろな場面で生きてくるでしょう。作文もパターン

メーカーも四字熟語もたんぼもサボテンもあさがおもたこマンもさくらも、やってよかったと思える日が来ます。自信を持って歩いていってください。

何かを「大好き」と信じられることが人の芯で大切なこと。研究者の偉大な生き方を示してくれた鈴木先生をはじめ、素敵で輝く大人はたくさんいます。「かつこいいな、素敵だな」と思える大人を探しては、何をすればそうなるかを学んで目標にしていってください。青春は悩むお年頃でもあるけれど、困ったり心配になったりしたら、いつでも相談してください。私はずっと、花まるファミリーのキミたちの味方です。

卒業、おめでとう！

花まる学習会 高濱正伸

花まるだより 2026年3月号
(令和8年3月5日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱正伸
企画・編集 久慈菜津紀
編集 井坂敦子・金井彩・清田奈南
坂田翔・高橋奈穂
デザイン 春日梨沙・西野奈布子
印刷 アークランド株式会社

無料 4月16日(木) 10:30~12:00

AIによる激変の時代、
最高の子育てとは



高濱正伸

オンライン配信

高濱正伸
講演会



お申し込みはこちら

AIが急速に進化し、仕事や社会のあり方が大きく変わりつつある時代。この先を生きる子どもたちに、親はどのような力を育てていけばよいのでしょうか。テーマは、人間力・主体性・哲学・心の強さ・感性・学力、そして「わが子の強みの見極め方」。単なる学力論ではなく、「また会いたい人」「一緒にいると力が湧く人」として社会で生き抜く力を、家庭でどう育むかを掘り下げます。

無料 4月24日(金) 10:30~12:00

体験から始まる学び

野外体験が育てる力とは



高濱正伸 x 箕浦健治

オンライン配信

高濱正伸
x
箕浦健治



お申し込みはこちら

「社会は自分に合わせてはくれない。良いこともあれば、思い通りにならないこともある。だからこそ、社会に出る前に、親元を離れ、自分の力で乗り越える経験をしてほしい。」

野外体験だけではなく、日常生活で親がどのようにかわればよいのか、子どもの成長に本当に必要なものは何か——その問いに向き合う時間として、ぜひご参加ください。

全国の花まる教室長、約150人をまるっと一年かけて高濱が直接インタビュー！ 高濱による他已紹介「タカタコ」で、みなさんの教室長を紹介します。今年のテーマは、「私の極み」！ 本気で挑んだこと、情熱をもって取り組んだことから、教室長一人ひとりを深掘りしちゃいます。サマースクールや雪国スクールで会ったリーダーたちも探してみてくださいね！





いっしょにあそぼう！ 親子であそぼう！

花まるサムライ合戦

「花まるサムライ合戦」は、花まるグループが新しく生み出したオリジナルスポーツです。年齢も性別もバラバラな仲間たちと力を合わせ、知恵を出しあい、目指すはただひとつ、天下統一（優勝）！ 親も子も気がつけば本気になっている、初めて会った家族と喜びを分かちあう。家族で遊びつくす一日を、ぜひ花まるサムライ合戦で！

大人も子どもも本気！

天下統一戦

子ども大将戦

子どもたちだけで挑む！



のぞいて
みよう！

花まる親子サムライって
どんなイベント？



動画が
見られるよ！



サムライの戦

よう！

出会いもたくさん！
本気もたくさん！
喜びも盛りだくさん！



打倒！ ファイヤー

ファイヤーを倒した証！
『炎の証』缶バッジ 2026ver.
(限定品)



NEW

炎の証

2025
サムライ合戦



伝説のサムライ
ファイヤー(箕浦 健治)



※デザインは変更になる
場合があります。

清岡 悠河

ライガー



ドラゴン

ギャラクシー

小さなサムライたちの
真剣勝負！



年中・年長合戦

“最強”はだれだ!?

エキシビジョンマッチ



うながるう!

ひろげ

花まるサムライ
武将カードが
登場!?

花まるサムライ合戦
4~5月開催!

関東 中京 関西

お申し込み: 3月27日(金) 11:00 スタート



詳細は
HPを
チェック!





出張!

花まるサムライ同戦

～各地の小学校・PTA・子ども会などで開催中!～



ほんま先生

4年連続の参加です！
子どもたちが楽しんでいるのを見るのも嬉しいし、普段とは違うかかわり方ができる機会でもある。学校の休み時間とも違う真剣な感じです。
6年生が低学年を気遣ったり、ほかの学年の子たちとも協力して作戦を考えたりしていて、いつもと違う姿を見られます。
学年を超えているいろいろな子とかかわりたい子、体をいっぱい動かしたい子にぜひ参加してほしいです！



いたばし先生

毎年参加しています！
今年も6年生の子たちから「行きましよう！」と誘われて、4回目の参加です。
誰もが全力でやっていて、小学校ではこんなふうには戦ったりできないので、みんなのマジな顔が見られて嬉しいです。
守ったり攻めたりも自分たちで考えている。普段リーダーシップを取らない子も「行こうよ！」と言っている姿を見て、頼もしいなあ！と感じています。どの学年の子もみんな、相手を思いやって行動しているのがすごいなあと思って見えています。



校長先生

子どもたちが普段の学校の様子とはまた違う面を

子どもたちに大人気！
刀を2本持って、前線で戦っていました！

夢中になって取り組んでいて、とてもおもしろい企画ですね。
子どもたちもまったく飽きずに本気でやっている。
私もやってみて、童心にかえって戦ってしまいました。子どもたちと教職員と保護者が一緒になって活動することはなかなかありません。それが実現できて、みんながそれぞれ真剣にやっているのがまた楽しい。みんな本気ですよ。





PTA すぎたにさん

PTAイベントをやるなら、絶対に自分も楽しいものを作りたいと思いました。何回か親子サムライに参加して、もう「これしかない!」と思って企画しました。男の子にも女の子にも好評で嬉しいです。思ったより保護者もたくさん見に来てくださっていて、PTAの活動も知ってもらえたらいいなあと思います。チーム分けが難しかったです。できるだけクラスが一緒の子ときょうだいと同じチームになるようにして、クラスや家庭で「楽しかったね」と話してもらえたら嬉しいです。



4年生 ももかさん

楽しかった! 前よりも振りが強くなったと思う。また来年も参加したいです!



PTA会長 わたなべさん

子どもたちの学校活動は、普通は学年ごとにおこないますが、1年生から6年生が混ざり合って、さらに大人も一緒に活動できるこのサムライ合戦は、先生と子どもたちが同じ目線で対決するのがすごくいいなあと思います。大人も手加減をしないし、子どもたちも本気で向かっていく。なかなかそういう機会がない。手を抜くことがないので、そこがいいですね。6年生は前日まで修学旅行、先生たちはその翌日に朝から参加して下さったのもありがたいです。一生懸命やってくださっているのを見るのも保護者として嬉しいし、なにより子どもたちが嬉しそうです。リピーターが多くなって、回を追うごとに戦略も多様になってきました。そういう深まりも感じます。



5年生 なはせさん

花まるっ子です!

学校でサムライができると思っていたので、すごく楽しかった! 貴重な体験だったなあと思います。これまで花まるの親子サムライ合戦と、サマースクールの「サムライの国」にも行きました。今日は友達もいるからコミュニケーションもとやすかった。お父さんがめちゃくちゃ考えてチーム分けをしてくれました。1年生も最初は不安そうだったけれど、友達がいるからぐんぐん行っているなあと感じました。友達も「来年もやるならまたやりたい!」と言ってくれて嬉しいです。今日は時間が短かったので、来年はもっと長くやりたい!



6年生 まはさん

去年より倒せる人数が増えて楽しかったです! 戦うということを普段はあまりしないけれど、それができるのが魅力です。大将が倒されると負けてしまうので、守りたいと思って戦っていました。花まるサムライ合戦は、だれでも本気になれるし、コミュニケーションもとれるので、どんな人にも参加してほしいです!

まはさんのお父さま・お母さま

わが子には「もっと攻めればいいのに」と思いますが、戦いぶりを見ていると、少しずつ積極的になってきたなあとも感じています。全体を見ているんですね。学年が上がって、チームワークを大事に、連携を取れるようになってきたのかなあ。毎年「行きたい!」と言うので、きっと楽しいんだろうと思います。6年生で、これが最後ののが残念です。



次はあなたの学校・地域で!

PTAのイベントや子ども会の活動として開催いただいています。

花まるサムライ合戦
公式サイトはこちら▶▶



お問い合わせ : samurai@hanamarugroup.jp



こんげつ 今月のレインボータイム

【文字をつなげて塗りつぶせ】

マスのなかの文字をつなげて、できるだけ長いことばや文章を作ろう。

できたことばや文章を塗りつぶすと出てくる、それぞれに一つだけある「使わない文字」はいったいどれかな？

※たて、よこにはつなげられるけれど、ななめにはつなげられないよ。



「レインボータイム」は

みずぐち れい
出題：水口玲
(しえふ)
はな がくしゅうかい
(花まる学習会)

レベル1

ち	い
ご	ふ

レベル5

そ	う	り
し	ゆ	よ
き	し	う

レベル10

き	に	ち
せ	っ	よ
ん	い	う

レベル20

や	る	ん	な
す	は	み	ど
み	に	は	こ
ご	く	い	に

レベル40

と	ず	え	も
う	お	を	を
も	に	と	と
の	は	い	っ

レベル50 2文を作ろう。

た	い	す	ご	す	て
き	ち	で	ご	ろ	み
い	う	お	す	ご	を
に	ち	す	み	ろ	び
え	ん	や	の	し	れ
う	ゆ	に	ひ	て	て

こころと頭を同時に伸ばす幼児期の子育て

Rinコラム

77

本当の自分を生きるとは ——作品は誰のものか

アート(創作と鑑賞)を通したクラスでは、毎回哲学的な問いを子どもたちとともに考えます。私たちはそれを「ARTのとびらきはん」と呼んでいます。その最初の問いが、「自由とはなにか」です。

このクラスの目的は、「その子の分身である作品を通して、その子自身を承認すること」にあります。より自由に、より自分の「やりたい」に正直に生きていくために。

意欲や自発性を損なうことなく、他者の表現に出会い、違いに触れ、意見を交わす。そのための「環境」を何より大切にしています(詳しくは拙著をご参照ください)。

「じゆうに、やりたいように、つくって下さい」この言葉は、「自由に、自分の人生を生きてください」というメッセージでもあります。他者の評価を基準にしている限り、人は本当の意味で自由にはなれません。基準が常に「外」にあるからです。

自分で考え、自分で選び取り、自分を貫く。とことん自分を知り、自分を信じる。その強さがあったこそ、人は自分の軸をもつことが

できます。そして興味深いことに、「じゆうな表現」を大切にされてきた子ども、その先にある、仲間や他者への共感・理解に自然と開かれていきます。

基準はすべて「内」にある。この生き方はアーティストのあり方とよく似ています。自分のなかにある譲れないものを掘り下げ、表現していく。本来、本当の自分を生きるなら、誰もがアーティストなのです。

ところが日常のなかでは、こんな言葉が何気なく子どもに向けて投げかけられます。「なんでそんなやり方をしているの?」「そこはやりすぎじゃない?」「それ以上やると汚くなるからやめて」

大人自身の価値観を、無自覚のまま子どもに押しつけてしまう瞬間です。作品は誰のものでしょうか。

「これは僕の作品だから、口を出さないで」と言える子はいいいのですが、「どうすればいいの?」と、考えることをやめ、大人に判断を委ねはじめる子もいます。

そうなったとき、作品はもはやその子のものではなくなってしまう。そしてそれは、その子の「人生の選択権」を、少しずつ奪っている状態でもあるのかもしれない。

いつでも創作が身近にあった私が、なぜそれを必要としていたのか。いまならわかります。「みんなと一緒」や「大人にとってのいい子」であることに違和感を覚えていた子ども時代。創作している時間だけは、誰かの期待ではなく、自分の「好き」に正直でいられた

した。そこにこそ、自分らしく生きる感覚があったのです。

何に価値を感じ、何に心が動くのか。それは、その人のなかにしかありません。それが確かであれば、人生のどんな局面でも、自分のなかに答えを見出すことができます。

何をやりたいのかがわかっているかどうか。それは、その人の幸福感を決める羅針盤です。子どもたちが、誰のものでもない自分の人生を、自分で決めて歩いていきますように。

冒頭の問いに、子どもたちは口をそろえてこう答えます。「じゆうとは、自分で決めること!」

あなたとほかの人の行き先は違っていい。間違えという道はありません。自分の心を中心に置いて歩いていけば、いつかちゃんと、あなたの場所にとどり着きます。どうか、自分の道を歩いていってください。

Rin (井岡由実)



『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』
井岡由実 著
高濱正伸 監修
(実務教育出版)

4月のAtelier for KIDS



うごく絵の具

全国から参加可能!

申込締切
4/1(水)
19:00

お申し込みはこちら!



今日のARTレシピ

『ダンボールART サプライズボックス』



つくり方を動画で見よう

Rinせんせいがつくってみました!

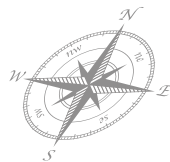
先月に引き続き、ダンボールで遊びます。『箱になっている』というダンボール箱そのものの特徴を活かして、なかにどんなしかけを作り出そうかと考えるのが楽しい創作レシピ。箱さえあれば、お部屋にしたり、びっくり箱にしたり、秘密のコレクションをしまう箱にしたり、はたまた郵便ポストにしたててお手紙交換の遊びをしたりするのも楽しいです。おもしろいボックスができれば、教えてね。

- じゅんびするもの
・空き箱 ・ハサミ ・ボンド ・描くもの



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第36弾は、類まれなる行動力で道を拓き続ける、
伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!



飯嶋 帆乃花さん

【花まる学習会】小2～小6
【スクールFC・西部学習道場】小3～中3
*担当教室長：高濱正伸・高橋大輔・日下部龍、西郡文啓、川島慶、
佐々木慧、井本陽久、ほか
【進路】学校法人 南山学園 南山中学校/公立中学校
→Aiglon College →旭川医科大学
【現在】大学生(医学部)

濱先生に直談判したんです。

高 はるはるの名古屋から来て口説いてくれたこと、覚えているよ。そのまま神奈川の教室を紹介して、新幹線で教室に通う日々が始まったんだよね。

飯 体験授業に参加して、楽しそうな私の姿を見た両親が「毎週の授業に通うことは難しいけれど、野外体験にだけは参加させたい」と入塾させてくれました。私が「楽しいから今週も行きたい」と毎回お願いして連れて行ってもらううちに、毎週通うようになりました。最終的には一人で新幹線に乗ることもありましたね(笑)

高 なかなかできることではないよね。そういう行動力があるご家庭で育った子はみんな大活躍しているんだよ。

飯 少しくらい遠くても移動が苦でないのは、この経験のおかげかもしれません。

高 4年生くらいになると、駅のホームで見知らぬお母さんが幼い子の手を離してしまつて危ないところを帆乃花が助けたエピソードもあったね。お礼を伝えたお母さんに帆乃花が「危ないのよホームで子どもの手を離してはダメですよ」と

伝えただけ。

飯 はい。駅員さんに表彰したいと声をかけていただいたのですが、「特算の授業があるのよ」と恐縮ながらお断りして教室へ向かいました。

高 授業を選んだという(笑) 帆乃花らしいね。

■花まる・FCの思い出

飯 どの授業も本当に楽しかったです！道場の生徒として参加させていただいた勉強合宿も本当に楽しくて。

高 勉強合宿、本気で没頭できて最高なんだよね。特算を受けていたということは、FCにも通っていたよね。

飯 小学3年生のときに、花まるとアルゴに加えてFC(当時の小3Jコース)にも通いたいご相談しました。当時は一日に三つのコースを選択することはできなかつたし全部は大変だからと止められたのですが、これも母が直談判して。翌年からは公式に一日に三つのコースを選べるようになりましたよ。

高 社員も思いついていなかった通塾方法を開拓したんだよ。

飯 4年生からは道場にも通わせていただき、金曜日はFCの特算・特国、土曜日は花まる・アルゴ・FC単科、日曜日は道場へ通う日々でした。

高 さらに北相木村での山村留学に行きたいという話も出て、名古屋から東京に来ているのだからもう十分、と止めただよね(笑)

飯 5年生でスーパー算数の授業を受けることになったときは、月曜日の放課後に新幹線で教室へ行き、夜行バスで帰って翌日も学校へ……という生活を続けました。5年生の最後の授業が終わったときは、母が「よく頑張ったね」と言ってくれて一緒に号泣しました。母も毎回付き添ってくれていたのよ、本当に大変だったと思います。

高 この行動力ですよ。親子で本当にすごいです。

飯 サマースクールも思い出深いです。キャンプファイヤーと、夜にみんなで集まって輪になって歌ったことが特に印象に残っています。

高 やっぱり歌は思い出に残るよね。飯川で泳いだことも、みんなでかけっ

高濱 帆乃花は出会いからすごいですよね。
飯嶋 小学1年生の終わり頃に父が新聞で高濱先生の特集記事を見つけ、「両親が「メシが食える大人に育てる」「もめごとはこやし」「外遊びが大事」というワードに感銘を受けました。母がすぐに電話で問い合わせたのですが、当時はまだ地元の名古屋に教室はなく、「遠方から通うのは大変だから、通う時間を外遊びにあててください」と断られてしまいました。直感タイプの母は諦めずに高濱先生の講演会の開催情報を調べて東大での講演会に参加し、そこで高

をしたことも、沖縄のコースでシーサーを作ったりしたこと……一つひとつが大切な思い出です。

■学生時代とこれからのこと

高 帆乃花はサマースクールで宮城県石巻市のMORRIUMUS（モリウミアス）にも行ったり、海外への行動力もすごいんだよ。

飯 初めて海外へ行ったのは、小学4年生のときです。ベトちゃん・ドクちゃんとの分離手術をおこなった病院として有名なベトナムのツーズー病院の特集を見て、どうしても現地に行きたいと思いました。一人で旅行会社に行つて相談してみたのですが、小学生だからと断られてしまい、行きたい理由などを書き出してまとめて両親に相談しました。すると両親がベトナムに住んでいる友人に受け入れをお願いしてくれ、そのほかのスケジュール管理などをすべて自分でおこなって行きました。

高 道を拓いちやうんだよな。サマースクールでカンボジアにも行ったね。

飯 中学時代に3回行かせていただきました。全部楽しかったです！

高 それ以外にも発展途上国の支援で何度も行つて、水道工事を手伝いに行つたこともあったね。

飯 中学時代に、サマースクールと合わせて合計7〜8回行きました。チョンボック

村の上流にあるダムが決壊したときには、インフラ修復の支援に参加させていただきました。

高 記念碑に帆乃花の名前が載っているんだよ。

飯 支援者として、高濱先生や川島先生とともに記載してくださっています。

高 それで終わらないところも帆乃花らしいところで。

飯 高校時代に、エイグロン・カレッジ校でスイス留学をしました。ヤフーの元代表取締役社長CEO小澤隆生氏の息子さんかスイス留学をしているという記事を、当時FCで教わっていた川島先生が紹介してくださって、それを読んだ母がスイスのボーディングスクールを調べたのがきっかけでした。本当にたくさんの体験をさせていたでいて、なかでも異国の人たちとアイスクライミングやロッククライミングに挑戦できたことが自信になりました。

高 体験のレベルが違うよな。多文化・異文化に触れてどうだった？

飯 授業で討論することも多かったのですが、自分の意見はもちろん、日本について問われても語ることができない自身の語彙や知識のなさに直面しました。私は宗教に疎かったので、それぞれが大切にしている考え方があんなかで意見を交

わす際の圧倒的な勉強不足も痛感しました。

高 知識だけでなく、哲学できているかどうかが問われるからね。いや、鍛えてもらえたね。エイグロン・カレッジ校を卒業後は？

飯 恵まれない国の人たちの笑顔を増やすための手段のひとつとして医師免許を取得したく、ヨーロッパの大学へ進学する道もありましたが、日本で取る道を探しました。

高 日本で挑戦するにはもう一度高校に通うくらいの学び直しが必要だから……。

飯 学び直しました！（笑）2浪する覚悟で臨みましたがうまくいかず、3浪になって家族に応援し続けてもらえたおかげで合格を勝ち取ることができました。年の離れた兄は私ほど自由にやらせてもらっていなかったと思うのですが、浪人中に「帆乃花は大丈夫なのか」と心配してくれたり、「誰を尊敬しているかと聞かれたら迷わず自分の妹だと答える」と言ってくれたりしていたことを知って、本当に嬉しかったです。

高 ご家族の無償の愛も、応援してもらえる帆乃花も、本当にすごんだよ。

飯 いつも、まずはいちばんの理解者の母に相談し、慎重派の父が心配しないように安全な方法を探してから父に相談しました。ときには航空チケットをとってから相談したこともあります。わが家ではこのバ

ランスがよい結果となっていたと思えます。おかげで「即行動」の精神が身につきました。

高 なるほど。ご両親のおかげで行動力も安全性も保たれていたんだね。これからはどうしたいの？

飯 日本で研鑽を積んで、日本でも海外でも活躍できる、中村哲氏のような医師になりたいです。

高 これまでのすべての経験を活かしていい選択をしていくんだろうな。世界が待っているね。これからも楽しみだよ。応援しています！

飯 ありがとうございます！

これまでの卒業生物語はこちら！



花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

55

勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小5・小3・年少の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんずう初級』（学研プラス）ほか



発見、習慣、対話

年末に「今年を漢字一文字で表すと？」と振り返ったり、年初に一年のテーマを漢字で決めたりする方もいらっしゃるかもしれませんが、そこで私も、新しい年度の始まりに向けて、子どもとのかわり方のテーマを漢字で決めてみることにしました。（一文字には収まらなかったで……熟語にて。）

新年中になる次女とのテーマは「発見」。

実は、「発見」は花まる学習会の年中コースで大切にしていることのひとつです。自分で考え、自分で発見することを楽しめるようになったら、それは学習の場面のみならず、これからの人生で大きな武器になるはず。そして、裏テーマは、「その『発見』と一緒に楽しむ余裕を、親である私自身もつこと」。日々の慌ただしさに引つ張られがちですが、この年代の子との触れ合いからしか味わえない楽しさを満喫していきたいと思えます。

新小4の長男とのテーマは「習慣」。

花まるオンラインの低学年コースを受講する彼にとつて、学習スタイルががらりと変わる高学年コースへの挑戦の一年。子どもの学習習慣はもちらん、私自身の生活リズムも見直しながら、親子で、「いい習慣」をつくっていききたい、という思いを込めました。

1月のサボテン（計算教材）で、小3の山場である3ケタ×2ケタの筆算に取り組みました。工程が多く、実際にわが子もドーンと壁にぶつかりましたが、そのぶん、これからの成長課題がよく見える単元でもありました。

観察してみると、長男がつまりやすいポイントは大きく二つ。

①音やリズムが似ているかけ算の式が混ぜてしまつこと

↓かけ算九九の暗唱を100%にする！

②かけ算や足し算の「最後」でのミス

最後の最後で、気が抜けてしまつことが多いようです。振り返ると、集中力が低い状態で取り組んだ「あさがお（書き写し教材）」の宿題でも最後の「一文字だけ書き忘れることが度々ありました。」

↓最後まで詰め切る力を伸ばそう！

冬休みに比較的時間がとれたことで、ここまでじっくり観察できました。同時に、去年は本人に任せることも多く、あまり長男を観察できていなかったな、という気づきもありました。小4は「青い箱」に入りつつあり、親に口出しされるのはいやな時期であることは大前提ですが、あまりに無関心でもダメな時期。適切な距離感で、新しい習慣づくりに、一緒に取り組んでいきたいなと思っています。

新小6の長女とのテーマは「対話」。

先日、長女のあるやりとりを先輩に話した際、「もつと対話をしたほうがいいのでは？」と気づきをもたらしたことが、このテーマを選んだきっかけです。私は、長女のことを「もう大人」として接しているつもりでしたが、実はまだまだ子ども扱いしてしまっていたようです。十年以上「子ども」として接していた親の感覚は思っている以上に根深い。だからこそ、意識して「対話」する一年に。

このコラムを書かせていただいて、早五年。

子どもたちはどんどん成長し、日々の子育てで感じることも変化していますが、願うことは変わりません。子どもにかかわる大人が、自分自身のことも大切に、笑顔でいられますように。

日々の子育てのなかで、「あ、そういう見方もあるのかも」と思える瞬間につながっていたら嬉しいですね。一年間、ありがとうございました。

花まる学習会 勝谷里美



『おかあさんはね』

エイミー・クラウス・ローゼンタール 作
トム・リヒテンヘルド 絵
高橋久美子 訳
(マイクロマガジン社)

子どもの健やかな成長を願う終わりのない愛の絵本。子育てのなかでいろいろ思い悩むことはあれど、この本を読むと、シンプルに子どもにとって何がいちばん大切に気づかれます。



『3人のママと3つのおべんとう』

クク・チスン 作
斎藤真理子 訳
(プロンス新社)

忙しい日常のなかで、遠足のお弁当をつくるママのお話。毎日頑張っているお母さんはもちろん、頑張っていると思っていないお母さんにもぜひ！ シリーズに『3人のパパと3つのはなたば』（プロンス新社）もあります。



『ほくにげちゃうよ』

マーガレット・ワイズ・ブラウン 文
クレメント・ハード 絵
岩田みみ 訳
(ほるぷ出版)

なんとか逃げようとする子ウサギと、それを追いかけるお母さん。初版は1942年とのことですが、いま読んでもうすりと笑えて、気持ちがあほりりする名作です。読み終わったあとに「こらやって逃げたらどうする？」と子どもと想像力を働かせて会話をするのもおすすめです。



母と子

今年度最後の回なので、直球で、「母と子」をテーマにした絵本をご紹介します。心温まる家族のひとときに、ぜひ！

Takashi
山崎 隆
(オータム)
Yamazaki

ある晴れた日

オータムの自由研究①

年の瀬も迫る十二月のある日のこと。その日は私の仕事納めでした。翌日から休みになるため少し夜遅くまで起き、妻と話をしていました。そしてそろそろ寝ようかという時間になったとき、妻から「破水したかも……」と告げられました。急いで病院に向かうと、妻はそのまま入院、まだ出産まで時間がかかりそうだということで私はいったん帰宅となりました。星のきれいな夜でした。

翌日、必要なものを持って再び病院へ向かいました。昨夜と同じように晴れた冬の空は澄んでいて、きれいな青がどこまでも広がっています。病院に着くと、すでに陣痛が始まっていました。陣痛に苦しむ妻と

言われるままに腰を押さえることしかできない無力な私との二人きりの分娩室。夕方になり医師と助産師が入ってこられ、午後六時ちょうどに男の子が生まれました。時間にして一、二秒だったと思いますが、産声を上げるまでに時間がありました。たったその一、二秒がとても長く感じられました。想像していたよりも細く高い産声を聞いたときの感動は、生涯忘れることはないでしょう。

すでに面会時間を過ぎていたため、しばらく三人の時間を過ごし、私は病院をあとにしました。夜道を一人歩いていると、いろいろな思いがこみ上げてきます。もうあと戻りすることは絶対にできない。自分の人生が終わったあとと続いていく命に対して、自分は責任を負っている。できる限りのことをしていこう。そんなことを考えていました。

それと同時に、年末で世の中が休みに入っているなかでも、当たり前のように対応してくれる人たちがいることに感謝しました。医師や助産師の方々に、ご家族はいたことでしょうか。年末年始にゆくり家族と過ごす時間を返上して、対応してくださったのです。世の中がこうであることは、当たり前ではないと思えました。医師や助産師の方々はもちろんですが、その裏で働いていた方もいたはず。そういういた人たちの生活が成り立つように、当たり前前に電車が走り、当たり前前にコンビニは営

業していて、当たり前前に物流は動き、当たり前前にテレビやラジオは情報を提供しています。その「当たり前」が支え合って、今日も誰かの命を救っている。そう考えると、そんな「当たり前」が奇跡のように感じられました。

世界を見渡し、歴史を振り返れば、この「当たり前」は「当たり前」でないことに気づきます。私自身がそう思うように、息子にもこの「当たり前」に感謝し、それを支えるような人になってほしいと思います。

妻は退院後、隣町に住む妻の実家でひと月ほどお世話になることになりました。大人になり、親元を離れ、自分で稼ぎ、税金や公共料金を支払い、自分たちだけで生活をしていると、もう一人前の大人になった気でいました。しかし、実際に生まれたばかりの赤子を両手に抱えてみると、何をどうしたらいいかわかっている自分たちに気づきました。泣いたら泣いたで心配になり、泣かなければ泣かないで心配になる。便が出ない、げっぷが出ない、そんな小さなこと一つひとつが心配になり、両親の親や子育てをしている知人に相談しています。自分はこのなんにも世の中のことをわかっていなかったのだと気づきました。「人は一人では生きていけない」とはよく言いますが、本当の意味でそれを教えてくれたのは息子でした。

名前は生まれた日の空の色と同じ「青」にしました。読み仮名は「あを」です。万葉の時代からある大和言葉から選びました。空の青や海の青、木々の葉や美しい鳥や花など、自然のなかに多く見られる色です。解釈の広い色でもあります。一方で、「未熟」という意味もありますが、大人になっても自分の未熟さを自覚し、人から学ぶ姿勢を忘れない謙虚な人になってほしいという願いも込めました。

まだまだ「寝る」「飲む」「泣く」しかできない息子ですが、私たち夫婦をはじめ親戚など周囲の大人や子どもたちを幸せな気持ちにしてくれています。どんな子になるか成長が楽しみでもあり、いまの姿をずっと見ていたいような気もしています。

花まる学習会 山崎隆



探究だ！ 冒険だ！



『理科と算数で検証したら、
わかってしまった昔話の真実
1 日本のお話編』

柳田 理科雄 監修
WILL ちこども知育研究所 編
(フレーベル館)

おなじみの昔話のキャラクターを、
小学校で習う理科と算数の知識で検証してみると、とんでもない真実が明らかに。筋肉ムキムキの一寸法師、実は竹だったかぐや姫、生物の常識をこえた大きさのダイダラボッチ……。『空想科学読本』シリーズの柳田理科雄氏による監修。ふだん習っている理科と算数で、こんなふう遊ぶに探究することもできるんです！



『まぼろしの動物 ニホンオオカミ
小学生、なぜのはくせいの正体を追う』

たけにちほみ 文 坂口友佳子 絵
かわたしんいちろう かんしゅう こもりむねこ きょうりよく
川田伸一郎 監修 小森日菜子 協力
(Gakken)

絶滅動物が好きな小学生の日菜子さん
は、博物館の施設で不思議な動物のはくせいを見つけます。「これってニホンオオカミのはくせいでは……？」100年以上前に絶滅し、世界に5体のはくせいしか残っていない幻のニホンオオカミ。まわりの大人たちを巻き込んで、日菜子さんの探究の旅が始まる——。本に書いてあることやえらい先生が話していることが、すべて正しいとは限らない」自分の目で見て考え、未知を解き明かす喜びに満ちたノンフィクション。



『セカイを科学せよ！』

安田 夏菜 著
(講談社)

日本人の父とロシア人の母をもつ、自称「こじらせ系ハーフ」の中学生ミハイル。ある日、オタク的に「蟲」を愛するすべてが規格外の転校生・葉奈がやってきたことで始まる、とっってもエキサイティングでバイオリジカルな日々。多様性、ダイバーシティ、SDGs……。そんな小難しい言葉を使わなくても、自分の「好き」ととことん探究すればあらゆる境界をこえられる！ そう信じさせてくれるストーリー。



『ウエズレーの国』

ポール・フライシュマン 作
ケビン・ホクス 絵
千葉茂樹 訳
(あすなろ書房)

町で仲間外れにされていた少年ウエズレーは、夏休みの自由研究で庭に「自分だけの文明」を作ろうとします。自分で作物を育て、家や服も作り、文字や数の数え方も考えてしまう——。人のもつ無限の可能性、好奇心の赴くままに探究する喜びが感じられる一冊。「ウエズレーの国」が少しずつ大きくなっていき、仲間が増えていくプロセスは実に感動的です。



『アームストロング
宙飛ぶネズミの大冒険』

トーベン・クールマン 作
金原 瑞人 訳
(ブロンズ新社)

勇気と知恵をもったネズミの冒険を描いたシリーズの2作目（1作目：『リンドバーク 空飛ぶネズミの大冒険』、3作目：『エジソン ネズミの海底大冒険』）。月は「でっかいチーズ」だと信じられているネズミの世界で、一匹の小ネズミが夜ごと天体望遠鏡をのぞき、月が地球の衛星であることを発見。そして彼は、やがて人類の歴史も変えてしまうような、壮大な月面着陸計画に挑戦します。NASAの「アルテミス計画」でおよそ50年ぶりに有人飛行船が打ち上げられる今年2026年、是非ひも解いていただきたい一冊。

※品切れ中等、書店ではお求めいただけいない場合があります。図書館等で探してみてください。



桂田 拓弥
(ヴォックス)

花まる ころこ

姿かたちは変わっても

低学年コースの教材「ざくら」で『去年の木』という物語を扱いました。簡単ならすじをご紹介します。

いつも仲良しな小鳥と木。冬を越すために小鳥は南へ旅立つ時期になり、来年また一緒に会う約束をして離れます。しかし、小鳥が帰ってくると木は切り倒されてなくなっていました。木を必死に探した結果、木はマッチに加えられ、ランプを灯す火となって燃えていました。小鳥は火に向かって歌を唄います。そこには、嬉しそうに揺らめく火の姿がありました。その後、小鳥はどこかへ飛んでいってしまいました……

物語に関するクイズを出したあと、子どもたちに問いかけました。

「木は生きているのか、死んでいるのか」これに対して、子どもたちからはさまざまな意見があがってきました。

「木は切り倒された時点で死んでしまっている」
「火が嬉しそうに揺れたのは、心が生きている証」

ほかにもさまざまな視点で木の生死についての意見が飛び交いました。それと同時に私は、マッチとなった木と小鳥の再会は幸せなものだったのか。そんなことも考えていました。

話は変わって先日、病院へお見舞いに行きました。そこには祖母が入院しており、数年ぶりに会いに行ったのです。

祖母は5年前に脳梗塞で突然倒れ、幸い一命をとりとめたものの、右半身が完全に麻痺してしまいました。いまはもう、声を出せず寝返りも打てません。食事もとれないので点滴で栄養を補給して生きている状態です。

搬送された当時、祖母の様子を母がテレビ電話で見せてくれました。そこに映った祖母の姿は、以前の面影がわからないほど痩せ細っていました。呼吸器をつけられ、声もほとんど出せず、唸ることしかできません。術後で認知症も進んでいるようで、画面越しの私が孫であると気づいていない様子でした。自身の記憶に残っている、元気で笑顔の絶えない祖母

とはまったく異なる姿にショックを受けつつも、意地でも涙は見せないようにと必死で笑顔を作っていたのを覚えていました。

あれから数年、コロナ禍が落ち着いてお見舞いに行けるようになったあと、仕事の大忙しさを理由に直接会いに行くことはありませんでした。しかし、本当は変わり果てた祖母と向き合う勇気が出なかつただけなのです。

いつまでも逃げるわけにはいかないと決心し、祖母と直接会う時間をつくりました。面会時間は15分。会って何を伝えるべきか、そもそも私のことはわからないのではないか。そんな考えが頭をめぐるうちに病室へ到着。「いまさら気づいてもらえなかつたって仕方ない」と覚悟を決めてカーテンを開け、祖母と対面しました。

良くも悪くもテレビ電話で見たときと変わらない祖母の姿がそこにありました。体はまったく動かず、右半身は特に痩せ細っています。そして、わずかに開いた目がこちらを見ています。おそろおそろ祖母の耳元に近寄り、自分の名前を伝えたところ、祖母に小さな反応がありました。時間をかけて懸命に、話そうとしています。声は出せませんが、その口の動きは明らかに私の名前を呼んでいました。

そして、かろうじて動く左目から涙が一粒流れ落ちました。言葉は交わせずとも、祖母が私のことをわかってくれたと感じられた瞬間でした。

私との再会に精一杯の喜びを見せる祖母を見て、なぜもつと早く来なかつたのかと自分を責めました。体が動かなくても、姿が変わっても、祖母の心は変わらずここにあったのです。これまで避け続けたことへの後悔と、昔と変わらず心が通い合った嬉しさとで、あのとき流せなかつたぶん涙がこぼれました。

互いに涙し、互いに笑いながら時間を過ごし、これまで会いに来られなかつたことを謝るとともに、近いうちにまた来ること約束して、病室をあとにしました。

『去年の木』を初めて読んだとき、私は小鳥にとっては悲しい終わりを迎えた物語だと感じました。しかし、いまは幸せと救いのある物語だったのではないかと思っています。楽しかつたあの頃にはもう戻れないけれど、再会を果たし、心を通わせられたことは、間違いなく幸せな瞬間だったはず。祖母とのひとときを経た、そう思わずにはいられませんでした。

花まる学習会 桂田拓弥



Hanamaru Family

花まるファミリー

花まるの
教室長を
紹介します!

オンライン
 アルコ …アルコクラブ
 FC …スクールFC
 無人島
 AIS …All Inclusive School
 …花まるおやこクラス

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



ウツキ

うすき まさひこ
臼杵 允彦

東京西 福岡県



チャーム

うちだ みお
内田 弥櫻


埼玉 埼玉県



イナズマ

かわむら かずま
河村 和真

東京東 **FC** 福島県



アニマル

きたざわ ゆうた
北澤 優太

東京東 栃木 愛知県



このぴー

このぎしきのぶ
此崎 忍

埼玉 東京都



しおりん

ささき しおり
佐々木 汐莉

東京都



ホーナー

すがわら ただし
菅原 忠

中京 埼玉県



ピノ

たかはし あいり
高橋 愛梨

東京西 東京都



まんまん

たかはま まさのぶ
高濱 正伸

花まる学習会 熊本県



ぴぷ

ななみ なおみち
名波 直道

埼玉 静岡県



レフティ

はせがわ ようすけ
長谷川 陽介

神奈川南 神奈川県



もちよ

もとし はるこ
元吉 遥子

東京南 山梨県



ぷどう

やまぐち あいり
山口 愛鈴

関西 大阪府



まんまん

たかはま まさのぶ
高濱 正伸

○○○
熊本県

…… リーダーネーム
…… 名前
…… 所属
…… 出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

3月の誕生花は **チューリップ**

タカタコロ

沖縄が好きで、住み込みでアルバイトをした時期があります。沖縄のローカルTV番組の構成まで考察するようになり、この経験は「まいにち花まる」の制作につながりました。沖縄は、待ち合わせで約束の場所に行っても誰も来ないようなゆるい感じが心地よかったです、「ゆんたく（おしゃべり）して帰ろう」「○○しようね（自分の意思）」「○○しようね（してください）」等の言い回しが好きでした。
*有森もえはか朝葉